

ジャガイモを栽培しましょう

2014年4月16日

黒川理科研究会 4月例会のために

永澤 義人

1. ジャガイモの植えるところ

玄関のわきにジャガイモの鉢をおく。

畑でなくともジャガイモは育てることができます

縦50センチ横50センチ（まるければ直径50センチ）で

高さが50センチの容器 底から少し水が流れるもの

木製 プラスチック 金属製（バケツなど）ポット

大きめのプランター または鉢 あるものを何とか工夫して

2. プランターや大きい鉢でジャガイモを育てる

1) 栽培用の土

野菜の土 種まき培度土 など 市販されています。

永澤さんの畑の土を持っていてもいいです。

栽培要の肥料 結城肥料はジャガイモのあまみが強い

牛糞堆肥を一平方メートルあたり5リットルくらい

油かす 鶏糞 など ぼかし肥と生ごみで肥料をつくる

台所の調理したあとのごみ 容器に入れて1か月くらいくさらす。

苦土石灰 適当なPH（酸度）にしてくれる。

2) 鉢に土と肥料を入れる

鉢のそこに小さい塊をいれる。

市販の鉢のそこにいれる石（鉢底石） 小石 鉢のこわれたもの

鉢にどれくらいの土がはいるかもってきた土を入れてみる。

栽培用の土と肥料をまぜる

鉢に入れた土を地面に広げる

この栽培用の土野上に適量の肥料を蒔いて

移植ベラか小さいスコップなどをつかって 土と肥料をしっかりとまぜあませる。

混ぜあわせた栽培用の土をプランターや鉢に3分の2いれる。

土はおしつけないでさあと静かにいれます。

植え付け後1月半くらいあとに追肥をやります。

追肥のあとにそのときに増し土をして土を加えて

最終的には鉢の縁から3センチくらいしたまで土をいれます。土寄せの代わりに増し土でイモのできる場所をつくってやります。

鉢やプランター栽培だと畑と違って乾きやすいのでときどき水やりをしなければなりません。

3. 植え付けに使うたねいもについて

畑で植え付け栽培するタネイモは八百屋やスーパーで食用として売っているものは病気にかかったウイルスにかかったりすることがあります。栽培に使うイモはカインズや笠原などのたねやでタネイモとしてカインズなどで市販されているものを購入して使うようにします。

1) ジャガイモの品種

男爵 だんしゃくいも

国内でもっとも多く栽培されている品種、明治41年（1908）に川田男爵がイギリスから輸入してきたのでこの名がある。ホクホクして甘みがある。



メークイン

品種名は5月の村祭り（メーデー）で選ばれる女王にちなんだもの。荷崩れしにくく、しっとりした食感がする。

インカのめざめ

イモはやや小ぶりながら、明るい肉食とナッツのような香りからクリジャガとも呼ばれている。

北あかり

永澤がつくっている品種です。お菓子の材料にとお菓子屋さんが開発した品種です。甘くてほくほくしています。私はポテトサラダには北あかりを使っています。もちろんみそ汁にいれてもおいしいです。つぶしてジャガイモ団子にしてもおいしいです。

アローワ

どっさり取れる早生の品種です。ややねばっこくてフワットする食感がいいです。秋作にいいです。ジャパンポテトといわれます。

いろいろの品種がありますが、店での宣伝文句や知人伸す推薦や本を参考にすることで自分の耕作する品種をきめましょう。

2) ジャガイモという植物は

江戸時代のはじめにオランダ人によって長崎にもりこまれたのです。インドネシアのジャカルタカラキタイモということでジャガタライモと呼ばれていましたがそれがだんだんにジャガイモと屋ばれるようになったのです。

15世紀の末、アメリカ大陸からヨーロッパに伝わりわずか100年ほどで日本に渡来しました。ジャガイモのことをフランス語で「大地の林檎」と呼ばれてれています。ビタミンC、カリ、鉄のほかに植物繊維が豊富で含まれて林檎に匹敵ほどの栄養価があるとされていてこのように呼ばれています。

ジャガイモは短期間で栽培でき（3月に蒔いて、6月に収穫できます。寒い土地でも栽培できます。飢饉の時に救われたということです。

収穫したジャガイモは光の当たらないところに保管しましょう。光が当たると緑色になりおいしくなくなります。

4. ジャガイモは

私たちが普通ジャガイモの「たね」として使われているところは、ジャガイモという植物のどの部分なのでしょう。 ジャガイモのたねにする部分は茎・根・葉・実の植物のどの部位が大きくなったのでしょうか。

答えは茎です。

ジャガイモとして食べている「いも」は土の中に埋められたたねいもから出た白い細い茎の部分の一部が大きくふくらんだものです。このふくらんだ部分を「塊茎」とも呼ばれています。私たちはジャガイモという植物の茎を食用にしているのです。

ジャガイモの地下の茎の一部太ってジャガイモになるということがジャガイモ栽培に非常に大きい意味を持つことになるのです。

たねいもを地中に埋めておくと、土の中のたねいもから土のなかに細い茎が（管が出てきます。そのたねいもからでた地下茎から枝のような細い管（ストロン）が出てきます。その細い管の先に栄養がたまって大きく太ってジャガイモの「いも」に成育するのです。

塊茎を食用にする植物は以外に多く、サトイモ、コンニャクイモ、キクイモ、クワイなどがあります。サツマイモは茎が肥大化したものではなく、根が肥大化したもので塊根と呼ばれています。

ジャガイモはもともと茎です。ジャガイモからでた茎も細い管もそれが太ってできたジャガイモももともと「**茎**」ですから緑のはずなのですが、土の中で日光が当たらないので白いのです。ですからこの太ってできたジャガイモに日光が当たれば葉緑素がでて緑色になってしまってたべられなくなるのです。

5. ジャガイモのたねいも

1) たねいもを購入する

栽培するジャガイモのたねは「たね」として販売しているものを使います。食用のジャガイモは使用しないようにしましょう。

2) 「たねいも」として使用するまでに

アイモをしっかりとかんさつする。

使用できないもの 傷のついたもの 割れのある物 くされ 中が黒いもの
イ 60g くらいのを二つに割って30g にして使う 90g は3つ
二つに割ったものをわった表面に灰をつけて使う

3) 切り口を上にして

イモを切り口を土の上におき土を6cm くらい覆土する。

6. ジャガイモの手入れ

1) 芽欠き 芽が多いといもの肥大が悪いので茎は1～2本にする。

たねいもが動かないように土をしっかりと押さえて目をかく

2) 追肥 1回目は芽が出てすぐ 1回目は草丈10～15cm のとき

3) 土寄せ 2回目の肥料のすぐあとに 2回目は開花すぐまえに

3回目はタネイモの15cm くらいたかく土をよせる。

できたいもが地表にでないように